



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社オーブドア
コード番号 3926 URL <http://www.opendoor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 大介
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 西塚 慎太郎

TEL 03-5545-7215

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,822	—	661	—	655	—	405	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 407百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	81.29	80.41
27年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成27年3月期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第3四半期の数値及び平成28年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は、平成27年10月20日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 当社は、平成27年12月17日に東京証券取引所マザーズへ上場したため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から当第3四半期連結累計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第3四半期	2,803	—	2,373	—	84.7
27年3月期	2,250	—	1,787	—	79.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 2,373百万円 27年3月期 1,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,467	24.0	823	147.2	823	144.1	511	27.5	101.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

- ※ 1株当たり当期純利益は、平成27年12月17日に東京証券取引所マザーズへ上場したことによる公募株式数(50,000株)及びオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(60,000株)を含めた期中平均株式数により算出しております。
※ 当社は、平成27年10月20日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。連結業績予測の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	5,150,000 株	27年3月期	5,100,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	92,000 株	27年3月期	115,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	4,988,804 株	27年3月期3Q	4,985,000 株

(注)当社は、平成27年10月20日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に株式分割が行われたものと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では金融政策正常化の影響があるものの堅調に推移した一方、中国をはじめとするアジア新興国では国内需要の鈍化等により景気が緩やかに減速しました。

これに対し、我が国の経済は、世界経済の影響による不安要素はあるものの、政府の経済政策及び金融政策により雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな景気回復基調を維持しております。

このような状況のもと、当社の旅行関連事業におきましては、各メニューのユーザビリティを強化及び取扱商品数の拡充を図ることで既存事業の拡大に努めて参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高1,822,364千円、営業利益661,200千円、経常利益655,384千円、親会社株主に帰属する四半期純利益405,521千円となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、セグメントの業績については記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,803,927千円（前連結会計年度末比552,973千円増加）となりました。これは主に、現金及び預金の増加498,818千円、売上高の増加による売掛金の増加63,643千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は429,977千円（前連結会計年度末比33,688千円減少）となりました。これは主に、買掛金が20,286千円、賞与引当金が10,140千円増加した一方で、法人税等の支払により未払法人税等が51,272千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,373,950千円（前連結会計年度末比586,662千円増加）となりました。これは主に、新規上場に伴う公募増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ87,860千円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益405,521千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想については、平成27年12月17日に公表しました予想から変更ありません。なお、上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,587,963	2,086,782
売掛金	204,692	268,335
有価証券	10,305	10,309
その他	48,250	44,148
貸倒引当金	△577	△615
流動資産合計	1,850,634	2,408,960
固定資産		
有形固定資産	72,574	64,495
無形固定資産	27,650	19,434
投資その他の資産		
その他	330,151	311,037
貸倒引当金	△30,057	-
投資その他の資産合計	300,094	311,037
固定資産合計	400,319	394,967
資産合計	2,250,954	2,803,927
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,596	49,882
未払法人税等	195,127	143,855
賞与引当金	-	10,140
その他	226,054	213,157
流動負債合計	450,778	417,034
固定負債		
資産除去債務	10,687	10,742
その他	2,200	2,200
固定負債合計	12,887	12,942
負債合計	463,666	429,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,000	542,860
資本剰余金	295,544	377,286
利益剰余金	1,067,963	1,473,485
自己株式	△47,840	△38,272
株主資本合計	1,770,667	2,355,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,620	18,591
その他の包括利益累計額合計	16,620	18,591
純資産合計	1,787,288	2,373,950
負債純資産合計	2,250,954	2,803,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,822,364
売上原価	353,389
売上総利益	1,468,974
販売費及び一般管理費	807,773
営業利益	661,200
営業外収益	
受取利息	6
受取配当金	10
助成金収入	850
その他	11
営業外収益合計	878
営業外費用	
支払利息	7
為替差損	2,096
株式交付費	4,590
営業外費用合計	6,694
経常利益	655,384
税金等調整前四半期純利益	655,384
法人税、住民税及び事業税	251,996
法人税等調整額	△2,133
法人税等合計	249,862
四半期純利益	405,521
親会社株主に帰属する四半期純利益	405,521

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	405,521
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,970
その他の包括利益合計	1,970
四半期包括利益	407,492
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	407,492

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年12月16日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行50,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ87,860千円増加しております。

また、当第3四半期連結累計期間においてストック・オプションとしての新株予約権の権利行使による自己株式の処分に伴い、自己株式が23,000株減少しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が9,568千円、資本剰余金が6,118千円減少しております。

これらの要因により、当第3四半期連結会計期間末において資本金が542,860千円、資本剰余金が377,286千円、自己株式38,272千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

第三者割当増資による新株発行

当社は、平成27年11月11日及び平成27年11月26日開催の取締役会決議において、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、みずほ証券株式会社が当社株主である関根大介より借り入れた当社普通株式の返還に必要な株式を取得するため、同社を割当先とする第三者割当増資による新株発行を決議しておりましたが、平成28年1月18日に払込が完了いたしました。概要は以下のとおりであります。

(1) 募集株式の種類及び数

当社普通株式 60,000株

(2) 割当価格

1株につき 3,514.40円

(3) 割当価格の総額

210,864千円

(4) 増加する資本金

105,432千円（1株につき 1,757.20円）

(5) 増加する資本準備金

105,432千円（1株につき 1,757.20円）

(6) 割当先及び割当株式数

みずほ証券株式会社 60,000株

(7) 申込株数単位

100株

(8) 払込期日

平成28年1月18日

(9) 資金の用途

①ユーザビリティ向上及びコンテンツの充実のための事業部、システム部及び管理部にかかる人材の採用・育成、②「HotelSaurus」を中心とした海外向けWebサイトの知名度向上、コンテンツの充実及びさらなる多言語展開、並びに③新規ユーザー獲得のためのプロモーション、に充当する予定であります。